

趙子涵

ZHAO Zihan



透木

紫檀、黒竹、メープル、レジン、木工、3D プリント

透木

「透木」は、中国の伝統的な榫卯木工技術と新時代の 3D プリント技術を融合させ、革新した作品である。榫卯(しゅんぼう)は、古代中国の建築、家具、および他の機械に欠かせない構造方法であり、2つの部品の凹凸を利用して咬み合わせるといった接合方法である。凸の部分を「榫」、凹の部分を「卯」という。榫卯の構造は、中国の建築と家具の歴史において極めて重要な役割を果たした。2つの木材部品を接合させることは、中国の木工の真髄とされる伝統的な手法であり、最大の特徴は釘を一切使用しないことである。しかし、近代になって榫卯はあまり知られない存在になり、多くの人がある存在を知らない。榫卯は一旦接合されると、木材が完璧に咬み合うため、内部構造が見えにくくなる。そして、どのように接合されたのかを知ることも難しくなった。この作品の制作と研究動機は、榫卯という技術をより面白い角度、また美しさを持つ方法で直感的に理解してもらいたいということである。本作では、6つの異なる榫卯の接合方法を採用し、それを再設計して全体を構成した。木材が「榫」を表し、透明性のある樹脂が「卯」として作られている。これら2つの全く異なる素材が一つに結合されると、それらが組み合わされている原理が完璧に見える。また、鑑賞者は接続部分の形状と構造を見ることができ、作品全体がより流れるようで調和しているように見える。伝統的な要素がミニマリズムの中に残るのである。

榫卯は私にとって、木工技術だけでなく、中国古代の職人たちの知恵の結晶を象徴する芸術である。そのため、榫卯は芸術的な面でかけがえのない伝統的な美しさを与えられている。

私はこの作品を通して、世界中の多くの人に中国の伝統技術である榫卯をより多く知ってもらいたいと考える。